ヘッドホン型集音器「フォンテック」の魅力

New Technology 誕生！

快適な装着感と機能性

自動で電源オン・オフ、方向性を聞き分ける

松栄電子工業（名古屋市西区大金町1の32）は11月、ヘッドホン型集音器「フォンテック」を発売します。イヤホンタイプが主流の中、ニーズを丁寧にくみ取る中で生まれた「魅せる」集音器です。快適な着け心地で、おしゃれな見た目と優れた機能性を兼ね備えた新製品の概要を紹介します。

平松義朗社長プロフィル

1948年、名古屋市生まれ。愛知工業大学電気工学科卒業後、71年に松栄電子工業株式会社入社。91年同社社長就任。82年から2012年まで藤田保健衛生大学客員講師。

松栄電子工業の**平松義朗社長**に、新製品にかける思いや今後の製品開発への夢などを聞きました。

Q　集音器の開発に携わるようになったきっかけを教えてください。

A　私の知人で、経営の大先輩である大手小売り業の会長から、耳に合う集音器がないので作ってほしいと依頼があったことが始まりです。当初、その方のために作ったのですが、他の方に試してもらったところ好評だったことから製品化に踏み切りました。

おしゃれな「魅せる」集音器

集音器の開発、販売に携わっていく中で、聞こえづらくて困っている人がいかに多いかを実感しました。欧米では比較的、集音器や補聴器の使用率が高く40％ほどの人が使っているといわれていますが、日本では15％程度と少なめ。着けていることを恥ずかしいと感じる人が多いことが背景の一つにあるようです。

一方でご家族など周りの人が大きな声で話さなくてはならなかったり、テレビの音量が大きくてうるさく感じたりと、本人はさほど支障を感じなくとも、周囲が困る場面が多いことも分かりました。思いやりという観点からも、集音器、補聴器を着けるということを考えていただくことも大切だと感じています。

Q　小さいタイプが主流の中、あえて大型のヘッドホン型にした理由は何でしょうか。

A　これも、集音器を依頼された知人から「耳当りがソフトなヘッドホンタイプがほしい」という要望があったことが始まりです。個人差がありますが、イヤホンタイプのものは、ハウリングが起きないよう耳にぐっと押し込んで使うので、痛いと感じることがあるそうです。快適な装着を考えて開発が始まりましたが、ヘッドホンタイプにすることでいろいろなメリットが得られます。例えば、イヤホンのように小さなタイプの場合、電池も非常に小さいため、高齢の方の中には自分で電池を変えられないという方もいましたが、「フォンテック」は大きめの単4電池です。

電池が大きいため長持ちするというメリットも生まれました。また、大きくしたことで、音がどちらの方向から聞こえているかが分かるマイクを搭載することもできました。

Q　そういったお客様のニーズは、どのようにくみ取っていますか。

A　開発者は集音器を日常使用していないため、なかなか細かいニーズが分かりません。しかし、実際に製品を使用される方の身になって考えないと本当に使いやすい製品は生まれません。そういう観点から、弊社ではお客様に直接接することを大切にしています。

製品を試聴するために会社に来られるお客様がご意見を伝えてくださることもありますし、製品に関するお手紙もたくさんいただきます。そこから改善点やお客様のニーズをくみ取るようにしています。

Q　「フォンテック」の魅力を教えてください。

A　装着すると電源が切れることが大きな特長の一つです。左右別々で音量調整できることや、静かな場所ではスリープモードに切り替わるなど、高い機能性を兼ね備えていることも魅力です。

まだ集音器を使っていないという方は、まずは家の中だけで試してみるのも良いでしょうし、外でイヤホンタイプのものを使い、家では「フォンテック」でリラックスするというのもおすすめです。

フォンテックの特長

左右別々の音量調整

最大の特長は、耳当りがソフトなヘッドホン型であること。大型になったことで優れた機能を搭載できました。

その一つが、本体を装着すると自動的に電源が入り、外せば切れる点。さらに、音の方向性を聞き分けることができる、左右の音量を別々に調整できる、静かな場所でエアコンのモーター音などが耳障りにならないよう、スリープモードに切り替わるなど、うれしい機能が満載です。

イヤホンタイプに比べて着け心地がソフトなのも特徴

資料請求受付中

0120-521-251

松栄電子工業株式会社

詳細はウェブにて　http://www.phontec.jp

集音器　フォンテック　検索

開発の舞台裏

耳障りな音も軽減

伊藤博敏常務

伊藤博敏常務に、開発の苦労話や、工夫した点を聞きました。

集音器や補聴器は小型が主流ですが、「イヤホンで耳が痛くなる」「小さすぎて音量調整ができない」などの声がありました。そこで、逆の発想で目立つものを作ろうと生まれたのが「フォンテック」です。

デザインに非常にこだわりましたが、機能面の充実にも力を入れました。例えば、車が来る方向が分からず危ない目に遭った方の話を参考に、音の方向が分かる指向性マイクを搭載。ただ、そのためにハウリングが起きやすくなり、解消に約1年かかるなど、苦労も重ねました。

技術をフル活用してようやく発売に漕ぎ付けた、こだわり満載の「フォンテック」を、ぜひ多くの方に活用してほしいと思います。

「えっ!? なに!?」「もう一回言って!!」…聞き返す回数が増えてきていませんか？

「集音器ってなに?実機体験会」参加者募集

参加費無料

内　容／「集音器と補聴器の違い」や「集音器のメリットデメリット」を実際に体験しながらメーカー担当者のお話をお聞きします。

日　時／平成27年12月18日
平成28年1月20日、2月19日
各回10：30～12：00

場　所／中日メディアブレーン研修室（名古屋市中区栄2-11-30　セントラルビル5F）

参加費／無料　**定員**／各20人

講師：猪狩氏

応募方法／ファクスまたははがきで、①参加者名②住所③電話番号④年齢⑤同伴者名⑥参加希望日をご記入のうえ、下記までお送りください。<開催日2週間前金曜日必着>お申し込みを受け付けた方には開催日1週間前までに参加者証をお送りします。

応 募 先／中日ＢＢ「集音器ってなに？実機体験会」係
ファクス　052-203-1307
はがき　名古屋市中区栄2-11-30 セントラルビル5F

問い合わせ／中日BB　TEL 052-218-3332　先着順

※個人情報は申し込み事項の確認に利用し、目的外利用や第三者提供を行いません。応募項目が不足する場合、当選者から除外することがあります。
個人情報に関するお問い合わせ／中日BB　PMS事務局 TEL 052-218-3332

白を基調にしたシンプルでおしゃれなデザイン